

科目名	ダンスⅥ							年度	2025
英語科目名	Vocal Ⅵ							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 2 年次	必／選	選	時間数	40	単位数	1	種別※	実技
担当教員			教員の実務経験			実務経験の職種			
【科目の目的】 ウォームアップとしてストレッチと筋力トレーニングから開始する。ストレッチでは呼吸法と背骨の動きに特化したエクササイズ（ジャイロキネシスメソッド）を取り入れる。その後クラシックバレエの基本的なレッスンの流れに沿って取り組む。バレエバーを使用したバーレッスンでは脚の動きを中心として基礎的な動きを繰り返しながらステップアップしていく。後半はバーを持たずに移動や身体の方角の変化を取り入れる。									
【科目の概要】 ジャズダンスを通じて、身体表現方法を学びながら柔軟性、体幹を鍛え、美しい姿勢を目指し、より高度な技術を身につける。									
【到達目標】 1 年次で取り組んだクラシックバレエの入門レベルからさらにステップアップした技術を身につけ、ダンスの知識やテクニックを舞台公演のダンスシーンで活かせるようになる。また、毎回の授業で取り組むストレッチと筋力トレーニングにより柔軟性が向上し、身体に対する関心や意識が高まることが望ましい。それにより、身体を動かす体力の強化の必要性や重要性を認識し、継続してトレーニングする意欲に繋がることを目標とする。									
【授業の注意点】 多人数のグループの中で個々の差に対応するため、コミュニケーションを重視する。疑問点は教員が直接指導できる授業内での解決を目指し、積極的に質問するよう心がける。バレエのレッスンでは怪我の可能性も含むため、周りの生徒との接触には十分配慮し、スムーズな授業進行に協力すること。怪我をしている場合は予め申し出をし、担当教員の判断で授業見学を認めるが、体調不良による見学は認めない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル 5	レベル 4	レベル 3	レベル 2	レベル 1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	柔軟な身体である		少し向上した		柔軟性がない				
到達目標 B	美しいボディラインを保てる		時々ラインがくずれ る		ボディラインが美 しくない				
到達目標 C	ジャズダンスの基本 を美しく行える		時々、基本が乱れる		基本を理解してい ない				
到達目標 D	振り付けをしっかりと 覚えられる		時々覚えられない		覚えられない				
到達目標 E	ジャズダンスをミス なく踊れる		時々ミスをする		ミスが多い				
【教科書】									

レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ダンスVI			年度	2025
英語表記		Vocal VI			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	美しいボディラインをつくる	ボディラインを保ちながら踊れる	基本レッスン	ルルベ（つま先立ち）で両足、片足でバランスがとれる		
			ダンス④			
			ロングバリエーション			
2	美しいボディラインをつくる	ボディラインを保ちながら踊れる	基本レッスン	ルルベ（つま先立ち）で両足、片足でバランスがとれる		
			ダンス④			
			ロングバリエーション			
3	音楽性を身に付ける	音楽に合わせて踊る	基本レッスン	音に合わせて、足上げ、回転、ジャンプetc. ができる		
			ダンス⑤			
			ロングバリエーション			
4	音楽性を身に付ける	音楽に合わせて踊る	基本レッスン	音に合わせて、足上げ、2回転以上まわれる。より高くジャンプができる。		
			ダンス⑤			
			ロングバリエーション			
5	高度な技術をつける	高度な技術で踊れる	ハイレベルなレッスン	以上のことを高度な技術で踊ることができる		
			振り付け			
6	高度な技術をつける	高度な技術で踊れる	ハイレベルなレッスン	高度な技術に加え、自己表現ができる		
			振り付け			
7	表現力をつける	ダンスを通して自分を表現できる	ハイレベルなレッスン	振り付けを覚えられる。それをダンスに生かすことができる		
			振り付け			
8	ミスなく踊る	振り付け覚える	ハイレベルなレッスン	体と心が一致して、美しくやわらかく踊ることができる		
			振りの確認			
9	ダンスのリハーサル	テストの確認	ハイレベルなレッスン	体と心が一致して、美しくやわらかく、また、自分を表現して人々に見せることができる		
			すべてのダンスを踊る			
10	集大成	全員のレベルアップ	テスト	ミスなく、アピールがあり、ダンス1～5を踊ることができる。またロングバリエーションも踊ることができる。		
11						

12							
13							
14							
15							

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等